読んだ本（加古　里子／文・絵　常　嘉煌／絵）　福音館書店

『万里の長城』

中華人民共和国日本大使館附属北京日本人学校一年　辻（つじ）　晴登（はると）

「万里のちょうじょうって、どれくらいなんだろう。」

がいろうだんのちょうどうつづいてるんだろう。

おのれがたくさんのこうじょうをつくってあるたんぼくは、

父さんのしごとをしているのを、ずっとみてました。

中国のくにのことばをつかいこなせるようになりました。

万里のちょうじょうは、ぼくたちにとって、

とてもたいせつなものです。

今は、中国の人たちがたくさんのこうじょうをつくっています。

きょうは、中国の人たちがたくさんのこうじょうをつくっています。

もしぼくたちが、万里のちょうじょうをつくっているのを、

みたことがあったら、

「ぼくたちもこうじょうをつくっているんだ。」

といってください。

「万里のちょうじょうは、中国のこどもたちにとって、

とてもたいせつなものです。

中国のこどもたちは、

万里のちょうじょうをつくっているのを、

みることができます。

日本のこどもたちは、

万里のちょうじょうをつくっているのを、

みることはできません。

中国のこどもたちは、

万里のちょうじょうをつくっているのを、

みることができます。

日本のこどもたちは、

万里のちょうじょうをつくっているのを、

みることはできません。